

# きみつ 市議会 だより

Kimitsu City Assembly News

No. 121  
第2回定例会

2015.8.1  
発行

## 主な内容

第2回定例会のあらまし	2
永年在職議員表彰	2
議案等の審議結果	2
一般質問Q&A	3
委員会の焦点	6
特別委員会調査報告	8
先進地リポート	10
きみつズームアップ	12

発行／君津市議会  
編集／きみつ市議会だより編集委員会



ピック アップ  
Pick Up!

ヴァンテアン号

## 第20回記念 君津市民ふれあい祭り

## きみつの夏を感じよう



君津市  
マスコットキャラクター  
きみひめ

本市最大のイベントである「君津市民ふれあい祭り」の季節がやってきました。今年には記念すべき第20回を迎えます。

8月1日には、約5000発の花火が夏の夜空を彩る君津市民花火大会や工場見学などが行われ、2日には、翔凛高校によるダンスパフォーマンス、君津高校による書道パフォーマンス、子ども向けキャラクターショー、みこし練り歩き、よさこいソーラン、いやさか君津踊りなど、盛りだくさんの催しが開催されます。

さらに、特別企画として豪華客船「ヴァンテアン号」に乗船し、海の上から臨海部の工場を見学する洋上見学も8月1日に予定されています。(チケット完売) 皆さまお誘い合わせのうえ、会場まで足を運んでみてはいかがでしょうか。

永年在職議員表彰

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展にご尽力された功績により、3名の方が表彰を受けられました。



磯貝議員 小林議員 岡部議員

● 全国市議会議長会15年 一般表彰 ●  
 小林 喜久男 議員  
 岡部 順一 議員  
 磯貝 清 議員

議会費の縮減に関する陳情書など採択



第2回定例会は、6月2日から6月23日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長提出の17議案と議員提出の2議案、また陳情3件を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・採択されました。

一般質問では8人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

議案等の審議結果

議案番号	件名	本会議の審議結果
◆市長提出議案		
議案第 1号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 2号	君津市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 3号	君津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 4号	周西中学校屋内運動場改築工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案第 5号	(仮称) 上総保育園新築工事請負契約の締結について	原案可決(全会一致)
議案第 6号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 7号	市道路線の認定について	原案可決(全会一致)
議案第 8号	市道路線の変更について	原案可決(全会一致)
議案第 9号	君津市税条例等の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて	原案可決(全会一致)
議案第 10号	君津市都市計画税条例の一部を改正する条例についての専決処分の承認を求めることについて	原案可決(全会一致)
議案第 11号	平成27年度君津市一般会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 12号	平成27年度君津市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議案第 13号	平成27年度君津市学校給食特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 14号	平成27年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 15号	平成27年度君津市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 16号	平成27年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全会一致)
議案第 17号	君津中学校屋内運動場改築工事請負変更契約の締結について	原案可決(全会一致)
◆議員提出議案		
発議案第 2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決(全会一致)
発議案第 3号	国における平成28年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決(全会一致)
◆陳情		
陳情第 1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択(全会一致)
陳情第 2号	「国における平成28(2016)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択(全会一致)
陳情第 3号	議会費の縮減に関する陳情書	採 択(全会一致)

定例会日誌

5月18日	6月2日	8日	9日	12日	15日	16日	18日	23日
議会全員協議会 防災対策特別委員会 議会運営委員会	第2回定例会(本会議) 開会・会期の決定 議案の一部採択(提案理由説明、質疑、委員会付託省略、採決) 議案の上程(提案理由説明) 陳情の上程 議会費縮減に関する陳情書 学校給食共同調理場建設調査特別委員会 〔本会議〕	一般質問(個人4人) 議会運営委員会 追加議案の上程(提案理由説明) 議会全員協議会 〔本会議〕	一般質問(個人4人) 議案に対する質疑、委員会付託 陳情の委員会付託 議会全員協議会 総務常任委員会 文教民生常任委員会 建設経済常任委員会 議会運営委員会 君津活性化対策特別委員会 議会運営委員会 全国市議会議長会永年在職議員表彰伝達 〔本会議〕	委員長報告(質疑、討論、採決) 特別委員会委員長報告(質疑) 議会運営委員会 追加議案の上程(提案理由説明、質疑、委員会付託省略、採決) 閉会				





ここが聞きたい!

# 一般質問 Q&A

一般質問の制限時間は60分。市政全般にわたり、市長その他の執行機関に対し、事務の執行状況や将来への方針など、自由に質問することが許されています。

第2回定例会では、8人の議員が大綱35項目について、一般質問しました。各議員による質問の大綱と主な質問・回答の概要を通告順に掲載します。

※質問した議員自らが、項目と問答内容を選定しています。



小倉 靖幸議員 (新政会)

- ・都市間連携について
- ・交通政策について
- ・地方創生と産業振興について
- ・財政運営について
- ・建設行政について

## 都市間の広域連携

**Q** 新たな広域連携の制度等について積極的に検討すべきと考えられているか。

**A** 企画政策部長 近隣四市で研究してきており、引き続き取り組む。また、事務の種類によっては、四市にこだわらず、さらに広い分野での連携も必要である。

## JR内房線の充実と久留里線の活性化

**Q** JR内房線の利便性向上のため、JRにどのような働きかけを行うのか。また久留里線の活性化に向けた取り組みは。

**A** 企画政策部長 JR内房線は、高速バスの普及等により、乗車人数、運行本数とも減少しているが、市民の重要な交通手段であることから、君津駅発の電車の増発等を引き続き要望する。久

留里線の活性化については、県が行う久留里線プロジェクトとしてラッピング列車の運行など様々なイベントを行う。

## 道路安全施設の整備

**Q** 学校周辺の道路の安全対策は。

**A** 建設部長 交通量の多い、中小学校周辺において、市内初めてとなる規制速度を時速30キロに制限するゾーン30の指定に向け警察と調整中である。

## 河川の整備の計画

**Q** 小糸川氾濫により浸水した中島地区の被害防止対策は。

**A** 建設部長 国道127号松川橋から中島地区の東前橋までの区間について、平成24年度から県において上地区の共和橋上流で拡張工事を進めている。



磯貝 清議員 (きみつ未来)

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
- ・企業誘致にむけた対応について
- ・君津市地域公共交通網形成計画の策定について
- ・学校給食共同調理場の施設整備について

## 広域連携制度の創設に伴う今後の対応

**Q** 広域連携制度の創設に伴う本市としての今後の対応は。

**A** 市長 中核市へ移行しやすくなったことは十分認識している。中核市になると多くの権限が移譲され、きめ細かな行政サービスの提供と効率化が期待されるほか、独自のまちづくりの展開や市全体の活性化などのメリットがあげられる。

## 企業への設備投資優遇措置

**Q** 新規、既存企業における設備投資に関する優遇措置は。

**A** 企画政策部長 条例の一部改正を行い、立地奨励金の対象範囲を拡大し、新規企業の参入促進を支援することとした。既存企業への支援体制は、本市の財政状況や短期間で課税額が減少する設備投資に対する課税の特徴などを総合的に判断しながら、今後調査、研究していく。

## 中核市移行に伴う権限移譲

**Q** 中核市移行に伴う権限移譲の内容は。

## 高橋 明議員 (創政会)



- ・防災対策について
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックについて
- ・小櫃地域の活性化について

### 関係団体との防災対策における連携

**Q** 大規模災害時は、大型重機の運用が期待されるが、建設業協同組合との災害協定は、有効活用されているのか。

**A** 市長 風水害の際は、応援を要請している。今後は、組合に加入していない業者に対しても協力体制を広く求める。

### 災害対策本部設置訓練の実施

**Q** 本年度内に実施するのか。

**A** 総務部長 本年の九月に実施する予定で、現在準備を進めている。

### (仮称) 俵田駅前公園の整備

**Q** 整備完了までに時間を要しているが、現在の進捗状況は。

**A** 建設部長 平成19年度に事業着手しており、本年九月の開園を予定している。

### 小櫃公民館と周辺環境の整備

**Q** 平成24年に小櫃公民館の建て替えを含む提言書が小櫃地区ふるさと活性化対策委員会から提出されたが、まちづくり実施計画での位置づけは。

**A** 企画政策部長 整備計画を策定する中で十分に検討する。

### JR小櫃駅前の公衆トイレの改修

**Q** 来年度は予算化していただきたいが、所見は。

**A** 市民環境部長 特定財源の活用等を含め検討する。

### 山本青年館周辺の道路及び排水路の改修

**Q** 自治会からも改修の要望が出ているが、整備経過は。

**A** 建設部長 今年度は、排水路のボトルネックである旧国道410号の横断管の改修を行う。

## 船田 兼司議員 (政風会)



- ・教育環境の整備について
- ・公共施設の運営について
- ・平成25年度君津市の家計簿について
- ・高齢者・障害者等の在宅支援について

### 坂田共同調理場での公務災害

**Q** 設備の故障を起因とする公務災害が、起きているが、災害の内容は。

**A** 教育部長 学校から返却された各食器類を洗浄する設備の排気ファンの故障によって、蒸気が職員に当たって腕にやけどを負った事故である。

**Q** 今後、どのように施設改修等に取り組んでいくのか。

**A** 教育部長 排気ファンの修理について補正予算を上程している。今後は設備の保守点検を充実させ、公務災害が起これないように、十分に注意していく。

### 小中学校再編に向けた取り組み

**Q** 活力のある魅力的な学校づくりをするために、具体的にどのような

な施策を展開していくのか。

**A** 教育長 学校の小規模化の状況を踏まえ、適正規模、適正配置、すなわち統合も活性化策の一つと考えている。小中一貫教育やコミュニティスクールの導入等も検討していく。

### 家庭ごみ排出支援

**Q** 高齢者や障がいを持った方が、ごみステーションまでごみ出しが困難な場合に市が個別回収し、その際に独居世帯等の安否確認などの施策を本市に取り入れることができるか。

**A** 市民環境部長 家の前にごみを出していただく、ごみステーションの分散などの形であれば、現状の収集体制の中で対応ができるので、引き続き検討させていただきます。

## 三浦 道雄議員 (諸派・日本共産党)



- ・行政運営について
- ・福祉・医療行政について
- ・教育行政について
- ・地域活性化対策について
- ・環境行政について

### 新体制での行政運営

**Q** 新体制で臨む行政運営について伺う。

**A** 市長 新体制においても、引き続き、市民、地域、行政が、ともに考え、行動する協働によるまちづくりを基本とし、特別職と一般職の職員が丸と丸となって全力で取り組んでいく。石井副市長には私の右腕として大いに活躍してもらい、山口教育長には、教育委員会会の責任者として連携を強化しながら、本市教育の振興・発展に邁進してもらおう。

### ごみ袋有料化の撤回

**Q** 市民協働のまちづくり条例違反の、ごみ袋の有料化の撤回を求めらる。

**A** 市民環境部長 市民のご協力を頂き、当初に比べ、ごみの総排出量は、約30%減量できた。しかし、近年は一人あたりのごみ排出量が若干ふえている状況や、現行制度が必ずしも公平であるとは言いがたいとの指摘もあり、平成28年4月から単純従量制を導入予定である。市民の皆様には、負担をかけることになり、施行までの間周知漏れがないよう、また、丁寧な説明により、理解が得られるよう努める。

### 学校給食共同調理場整備事業

**Q** 老朽化の著しい南子安共同調理場の緊急建て替えが求められるが、今後の見直し等は。

**A** 教育部長 新たな共同調理場の整備方針については、三つの調理



各議員の質問の大綱と主な質問・回答の概要です。  
詳細は会議録で確認いただけます。

藤井 修議員 (公明党)



- ・子どもの健康管理と安全対策について
- ・事務事業総点検の取り扱いについて
- ・小中学校の再編について
- ・ICT社会への対応について

## 子どもの健康対策

**Q** ロタウイルスワクチンは出生後約5歳までの乳幼児が感染し、重症の場合、脳炎や脳症を併発し、まひ等の後遺症に至る感染症である。予防ワクチン接種が承認され、先進市で接種費用の一部を助成している。子育て支援対策として、導入の検討は。

**A** 保健福祉部長 国の示す予防接種の有効性や安全性の見解を注視し、公費助成を検討する。

**Q** 普通教室にエアコンを計画的に設置することに對して所見は。

**A** 教育部長 耐震化工事終了後、トイレ改修や学校施設の長寿命化を併せて検討する。

## 地域コミュニティ、高齢者憩いの場の確保

**Q** 事務事業総点検の結果、コミュニティセンターや借楽園は廃止との評価を受けているが、地域のコミュニティと高齢者の安らぎの場として、大きな役割を果たしている。その対応は。

**A** 市長 社会環境の変化や施設の利用状況及び代替施設の配置等を勘案して地域の実情に応じて検討する。

## 君津特別支援学校の整備計画への対応

**Q** 平成22年以降、対象児童生徒が増加し、大変狭い環境下で学んでいる。千葉県は君津市に分校開設を打診しているが、その対応は。

**A** 教育部長 君津市在住の児童生徒は91名が通っており、君津特別支援学校は君津市の中学校における特別支援教育の中心的な役割を担っている。学校再編において連携を視野に入れて検討する。

須永 和良議員 (諸派・新風)



- ・経営改革について
- ・公共交通について
- ・経済振興について
- ・安全なまちづくりについて

## フルーツライン整備事業

**Q** 今年度から新たに補助対象となった作物は何か。

**A** 経済部長 イチゴをはじめ、果実的野菜といわれるスイカとかメロン等が対象になった。

**Q** 収穫体験も直売もしないで、出荷するだけの農家も対象になっているが、それでは観光等に効果が表れないのでは。

**A** 経済部長 農家所得の向上が目的となっている。

**Q** 不公平感があると思う。小櫃や久留里のイチゴ農家がつぶれてフルーツラインの農家が拡大する事が君津市にとってプラスになるのか。

**A** 経済部長 基本的にはフルーツライン構想は練木の方から通っている道が非常に景色がよいということ指定した。

## フルーツラインの整備

**Q** 今の条件では効果が目に見えてこない。例えば、フルーツラインに設定されている場所のイチゴ農園は苗代の三割補助金が出る。しかしその補助金は他の地区でイチゴをやっている農家の税金かもしれない。不公平ではないか。

**A** 経済部長 十分検討させていただく。

## コミュニティバスの再編

**Q** コミュニティバス小糸川循環線で乗り切れなかったことがあると聞くと現状と対策は。

**A** 企画政策部長 四月に二回あり、その後、乗車定員の多いバスを運行し、対応した。

**Q** 契約方法見直しも含め検討していくということか。

**A** 企画政策部長 その点も含めて改善を図っていく。

加藤 喜代美議員 (政風会)



- ・市政運営について
- ・企画行政について
- ・観光行政について
- ・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・水道行政について

## 地域の活性化・企業誘致

**Q** 君津IC周辺等の企業誘致を念頭においた土地利用の方向性は。

**A** 企画政策部長 利用制限については具体的な方針によりその許可が決められる。経済活性化も含め地方版総合戦略の中で考えていく。

**Q** 大規模な企業誘致でなくとも、コールセンター等、既存施設を利用できるものはどうか。

**A** 企画政策部長 公共施設のありべき姿を研究し、施設規模・量を考える。東京から近く、整備された交通インフラを活用していく。

## 子育て支援

**Q** ファミリーサポート・病後児保育事業の状況等は。

**A** 保健福祉部長 ファミリーサポート事業は、現在120名登録しており、今後も地域の子育て支援力を高めていく。病後児保育事業は病児対応へ拡充等を図り、子育てと就労の支援に努める。

## 水道事業の健全化

**Q** 経営の健全化について今後の方針は。

**A** 水道部長 水道料金体系の見直しが必要。

**Q** 料金見直しの程度と時期について伺う。

**A** 水道部長 改定率は今後精査していく。

**Q** ごみ袋の有料化と水道料の値上げが同時期では市民にとって大変な負担と思われるため、慎重に考えてほしいが。

**A** 水道部長 改定時期は今後決定するが、欠損金が生じる前に経営健全化を図る必要がある。





(6ページ下から続く)

**問** 今回の改正による市の負担は。

**答** 市は軽減全体の4分の1を負担する。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第12号

**内容** 学校管理費について坂田小学校屋内運動場耐震補強工事に係る実施設計の委託料等として859万4千円を増額補正し、財源は、市債640万円及び一般財源219万4千円を充てる。教育振興費について楽器等の備品購入費として210万円を増額補正し、財源は、安房運輸株式会社からの寄附金200万円及び日本舞踊の花柳流蒸扇会からの寄附金10万円を充てる。(全会一致で可決すべきものと決定)

び坂田共同調理場の排風機の修繕費として183万2千円を増額補正する。

**問** 調理場修繕費の183万2千円の内訳は。

**答** 三台ある排風機のうち一台の排風機の修繕に充てるもの。

**問** 日常修繕に係る経費を増額補正する検討状況は。

**答** 現在、三調理場の不具合箇所を調査中であるため、結果がまとまり次第、予算化し、修繕していきたい。

賛成討論

調理場の作業員との対話を通じて修繕の優先度合いをつけて対応にあたりたい。(全会一致で可決すべきものと決定)



◆議案第13号

**内容** 総務費のうち、一般管理費について一般職の職員の給与等の見直しに伴い、一般職人件費458万4千円の減額補正及

建設経済常任委員会

審査案件(議案第6号ないし第8号、第12号)

◆議案第8号

**内容** 市道箕輪、上原線について認定路線の沿線及び終点部における、君津青葉高校の旧実習棟及び旧日本軽機材の工場などの建造物が全て解体されたことに伴い、一般交通の用に供されず、市道としての公共性が失われていることから、路線の終点を変更するもの。なお、既に地元自治会及び隣接地権者から市道変更の同意を得ているもので

ある。

**問** 地権者等の同意を得た経過は。

**答** 法的要件はないが、市道認定から区域が外れること、地域住民に不利益が生じることがないか確認した上で同意を得たものである。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第12号

**内容** 交通防犯対策費について、中小学校周辺の通学路の安全確保に向けた取り組みとして、警察と連携し、道路交通環境を改善する「ゾーン30」を整備するため、交通安全施設整備事業として342万8千円を増額し、財源は、国庫補助金188万5千円、一般財源24万3千円、市債130万円を充てる。

概要は。

**答** 平成25年度から警察が推進している交通安全対策の一つで、近隣市では袖ヶ浦市、鴨川市で実施している。中小学校の通学路において、交差点内のカラー舗装化や路側帯にグリーンベルトを設置するとともに、幅員が広い道路では、車道幅員を見直し、路側帯を広げ、通過交通の抑制を図るもの。(全会一致で可決すべきものと決定)



議会運営委員会

審査案件(陳情第3号)

◆陳情第3号

委員外議員として三浦章議員の出席を求め、議会改革特別委員会委員長であった岡部委員及び議会改革推進委員会座長であった三浦章議員から、各委員会における検討項目のうち、議員定数、議員報酬、政務活動費に関する検討の経過と結果について説明を受けた後、審査した。

の縮減に従来から取り組んでいる経緯もある中で、単純に類似団体と同程度の予算規模にすることは各自治体の状況等が異なるため、適切ではない。

**意見** これまでの議会改革の取り組み経過が市民に十分伝わっていない点は反省するべきであり、今後、市民に見える形で示していく必要がある。

**意見** 今任期中については議会改革特別委員会と議会改革推進委員会の両委員会において検討し、一定の結論を出してきた経過もあることからそれらを今任期中における議会改革の結論とし、改選後の新体制において引き続き、検討を続けていくべき。

**意見** 様々な諸制度が充実され、従来、議員が担ってきた地域住民の代表機能ではなく、市が抱える課題をどのように解決していくかが重視されてきたと考えることから、議員定数については今後、検討していくべき。

**意見** 議会改革推進委員会から答申があった政務活動費の削減については、今任期中に実施するべき。(全会一致で採択すべきものと決定)

# 特別委員会調査報告の概要

平成23年第4回定例会で設置された君津活性化対策特別委員会、防災対策特別委員会、交通体系等調査特別委員会、また、平成26年第2回臨時会で設置された学校給食共同調理場建設調査特別委員会から調査報告が行われ、調査活動を終わりました。※特別委員会調査報告の全文は、中央図書館、議会事務局で閲覧できるほか、議会事務局のホームページでご覧いただけます。

## 君津活性化対策特別委員会



鴫田剛 委員長

### 地方創生の気運の下に、戦略的な市政運営を

本特別委員会は、設置以降、行政視察をはじめ、企業誘致の実績を持つ市外のNPO団体を招き、講演会を開催するなど、先進事例から、本市の活性化の糸口を研究する一方、本市での具体的な取り組みや、課題について、まちづくり総合計画の策定をはじめ、公共施設の建設、さらには、現在、国が進める地方創生に関連した取り組みなど、市民目線に立った指摘や提言を行ってきた。

(仮称)清和地区観光交流センター整備事業に関しては、整備後の採算性や運営方針の精査など、課題点を

提起してきたところ、執行部においては、適宜、計画を修正するとともに、郵便局設置も検討するなど、柔軟な姿勢であたられていと認識している。

今後は、観光客のニーズを把握しながら、近隣施設の活用や地元産品に関する地域住民との連携など、具体的な運営方法の精査を一段と進め、慎重な姿勢で臨むべきであると考えている。

また、まちづくり総合計画に関しては、平成35年の目標人口を9万人と設定したことに対し、目標設定について慎重に協議を重ね、トップの思いがもつと伝わる計画にすべきという意見や、若年世代や経済振興を意識しながら、オール君津市体制で戦略的な施策を検討すべき、などの意見が多く出された。



昭和の街並みを視察（豊後高田市）

さらに、国が進める地方創生に関し、本市の推進体制や具体的な事業内容、さらに、それらをまとめる君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の策定などについて、調査研究した。

執行部においては、国が用意した各種支援メニューを活用しながら、「まち」「ひと」「しごと」の中に好循環を生み出す総合戦略を策定されるよう望む。

また、平成27年度は、第二次まちづくり実施計画の策定年度である。君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略との目的や役割の違いを見定めながら、「人が集い、活力あふれる健康都市きみつ」の早期実現に向け、今後3年間、行政がどのような取り組みを進めていくべきか、十分に検討いただくとともに、適切な機会をとらえ、市議会、並びに市民に検討結果を公開し、情報の共有を図りながら、出された意見を精査の上、計画にフィードバックさせるなど、実効性の高い計画の策定に鋭意努力されることを強く望む。

## 防災対策特別委員会



藤井修 委員長

### 「自助の精神」の徹底、「共助の地域づくり」

「自助の精神」の徹底、「共助の地域づくり」が引き続き進むべきか。その大命題を突き付けられた。新潟県長岡市では、大規模災害に備えた食料や飲料水は各家庭で備える「自助の精神」の徹底、高い自主防災組織率など「共助の地域づくり」が行き渡っている点に感銘を受けた。

新日鐵住金株式会社君津製鐵所の訪問では、災害時のコンビナート火災や東京湾の津波の市街地への被害が製鐵所内で食い止められることが確認された。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に市民の生命と財産、そして暮らしを守るため、何を備えるべきかの一点で特別委員会を設置し、防災対策の現状把握と課題の改善提案、有識者を招いて講演会の開催、被災地や企業・団体の視察研修など実施した。

宮城県名取市への視察では、被災状況と復興計画について説明を受け、岩手県に渡り、津波被害のほぼ全域を視察し、「自然災害の脅威は防げないが、市民の命を守るため、更に、被害を最小限に食い止める減災に向けて、今、何に取り組むべきか」その大命題を突き付けられた。

新潟県長岡市では、大規模災害に備えた食料や飲料水は各家庭で備える「自助の精神」の徹底、高い自主防災組織率など「共助の地域づくり」が行き渡っている点に感銘を受けた。

新日鐵住金株式会社君津製鐵所の訪問では、災害時のコンビナート火災や東京湾の津波の市街地への被害が製鐵所内で食い止められることが確認された。

災害時相互応援協定を締結しており、自然災害に対する防災と危機管理の態勢づくりを先進的に取り組んできた長野県飯田市を訪問した際には、都市間連携を重視し、すばらしいパートナーであることを確認し、連携強化できた。



被災後の様子を視察（長岡市）

(9ページ上へ続く)



(8ページ下から続く)

執行部との連携において、津波対策として標高表示板の設置など多くの成果をあげた。

その中で、小中学校の耐震化において、その進捗よくが県内ワースト3だった点は反省すべきである。

総括として、12点の提言をする。(提言内容についてはホームページ等でご確認いただけます。)

### 交通体系等調査 特別委員会



榎本貞夫 委員長

### 交通体系を見直し、ヒト・モノを動かして活性化

本特別委員会は市内の公共交通の維持・確保、利便性の向上に向け、的確な現状把握に努めるとともに、行政視察を行いながら、調査研究を重ねてきた。

この中でコミュニティバスに関して、人見・大和田・神門線の運行経路の変更に関する、周知期間の確保のため経路変更の開始時期を遅らせるとともに、執行部の住民説明会の結果報告を受けたうえで、改善策の提案や乗車率向上に向けた意見を投じたところだが、コミュニティバスの既設路線は、JR各駅の電車の発着等との連携が取れているとは言い難く、利用者の減少傾向を招く一つの要因とも考えるものである。

本特別委員会として、三直の君津バスターミナルを中心とし、市内各方面へのバス運行を機能的かつ効果的に再編することで、利用者への利便性を大きく向上させ、バス利用者の増加を促しながら、安定したコミュニティバス運行の維持・継続の効果が期待できる「ハブ&スポーク方式」の導入を提言するものである。

また、JRR君津駅北口ロータリーの活用も図りながら、将来的に、便数の拡充や路線の拡大、さらには、君津駅前への賑わい創出なども期待できると考える。



過そ地域における交通行政を視察 (構原町)

しかし、人口の急激な減少や、超高齢化社会への突入など様々な課題を抱える本市の現状に鑑みると、早期に行政と地域住民が膝を突き合わせ、互いに協力し、持続可能な運行方法について検討していく必要があると考える。

例えば、コミュニティバスの運行に関しては、小糸・清和地区をモデル地区に設定し、地域住民を主体としたデマンドタクシー事業の導入を進めることで、地域住民のニーズを的確に捉えた持続・継続可能な新たな公共交通手段が生まれることが考えられる。また、このような取り組みが市政運営における市民協働の先行的な事例になるものと期待する。



小林喜久男 委員長

### 学校給食共同調理場 建設調査特別委員会

君津市地域公共交通網形成計画の策定作業においては、本特別委員会の調査結果や指摘、提言事項を踏まえながら、本市の状況を示し、一人でも多くの市民から意見や要望を頂戴していったきたい。その中において長期的な視野を持ち、新たな視点に立って、真に市民が必要とする将来の交通体系を見据えた実効性の高い計画の策定を求めらるものである。

さらに、執行部においては、限られた人的資源の中で担当部局の職員の体制を充実させるとともに、経験に裏付けられた専門的な知識と行動力を有する職員の育成について十分配慮されるよう強く望むものである。

**安全・安心な給食供給体制の早期実現**  
本特別委員会は共同調理場事業の財源として見込んでいた国の交付金が不採択となり、事業が一年先送りになり、平成27年度の採択についても、不明瞭であることなど、不確定要素が多いことから再度あらゆる面から検証し、より効率的な建設事業となるよう、調査研究を行ってきた。

多くの委員が新調理場の必要性を強く認識している中で苦渋の選択ではあったが、建設費をはじめ諸経費が高騰を続ける中であって、将来にわたる財政負担を回避すべきであるとの判断であった。

執行部におかれては、調理場整備推進室において、既存の調理場に関しては、必要箇所の補修を早急かつ的確に行うとともに、安全・安心な給食提供の維持はもとより、そこで働く職員の安全確保にも努めていただきたい。

さらに、新調理場に関しては、あらゆる可能性を考慮しながらも、最も効果的な建設事業となるよう、慎重に検討しつつも子どもたちのために早期に方向性を定めていただくよう要望する。



調理場の現状を視察 (南子安共同調理場)

総務常任委員会

5月12日・13日

## 市民と共に よいまちづくりを

視察先 富山県南砺市、石川県能美市



委員長 真木 好朗 議員

**地域おこし協力隊の取り組み**  
(南砺市)

市の最大課題である人口減少に歯止めをかける施策の一つとして、地域の課題の解決や活性化を市民とともに図る「地域おこし協力隊」の募集を平成24年度から行なっている。特色として、地域活性化やまちづくりなど様々な分野における支援活動を各地域限定で行う隊員と、空き家の利活用と移住・定住を自ら実践し、活動状況や生活情報を発信し、移住者呼び込む活動を市全域で行う隊員と分けている。



地域おこし協力隊の活動を学ぶ (南砺市)

**協働型まちづくり支援**  
(能美市)

平成20年3月に能美市協働型まちづくりガイドラインが策定された。特徴として、市民対行政ではなく、まちづくりの担い手たちが、それぞれの得意なところを持ち寄って、地域の課題を解決していこうという思いで創られている。

具体的な取り組みとして、市民団体の悩みを解決するため、外部の専門家を招聘して派遣する「まちづくりアドバイザー派遣事業」、交流活動拠点である「市民協働まちづくりセンター」の開設・運営などがあげられる。

### ■視察を終えて

視察先で学んだことを生かしながら、本市の市民協働によるまちづくりや人口増加策について、意見を投じてまいります。

文教民生常任委員会

5月11日・12日

## これからの時代に 備えた施策を

視察先 富山県富山市・黒部市



委員長 小倉 靖幸 議員

**富山型デイサービス**  
(富山市)

富山型デイサービスは、赤ん坊からお年寄りまで、障害のあるなしに関わらず受け入れたことからはじまり、後に全国に広がり「富山型」と呼ばれた。高齢者は子どもと触れ合うことにより生活意欲が高まり、児童はお年寄りや障がい者への思いやりや優しさが身につく育成面の効果があげられる。一方、同時にサービスを受けるためそれぞれの特性に応じた処遇の確保が求められる。

### ■国際化教育

  
(黒部市)

黒部市では観光客が多数訪れることや、国際化企業が立地し帰国児童生徒への教育面などから国際化教育に取り組んできた。主な取り組み内容としては、小学校1年生から月に1回、3年生からは週に1回の「英

**英会話科**授業の実施、姉妹都市交流事業、英語サマーキャンプなどがあげられる。特に英会話科授業は国際化教育特区ゆえに多くの時間が割ける点、ALT等は国から派遣される点など、教育環境が充実しており、授業を視察したが、児童も積極的に取り組んでいた。



英会話科の授業を視察 (黒部市)

### ■視察を終えて

少子高齢化や国際化社会への対応はこれからの時代へ行政が求められる分野である。本市の課題に照らし合わせ、委員会調査研究を深めてまいります。

建設経済常任委員会

5月14日・15日

## 経済・産業振興で 魅力ある君津市へ

視察先 長崎県大村市・雲仙市・長崎市



委員長 岡部 順一 議員

**六次産業による地域の活性化**  
(大村市)

成功事例として全国的に注目されている「おおむら夢ファームシユシユ」は、8軒の農家が資金を出し合ってそれぞれの農家が生産(一次)した農産物を販売(三次)する施設を造った。一年を通してお客を呼ぶため、イチゴをハウス栽培、加工(二次)し販路を広げている。丹精込めて作った農産物は安売りしないことが大切とのこと。

### ■鳥獣被害対策実施隊

  
(雲仙市)

雲仙市では、20代から30代の青年農業者が核となつて、市職員とともに、鳥獣被害対策実施隊として主体的に活動している。農業者自らも狩猟免許を取得し、捕獲に取り組んでいる。農家に対しては、「防護柵計画事業化支援」集落点

**観光振興「長崎さるく」**  
(長崎市)

「さるく」とは長崎の方言で「ぶらぶら歩く」の意味。市民と行政が一緒になって名所・旧跡だけに限らず坂道や路地など、なにげない日常の生活にも長崎らしさがあるとの発想から、「まち歩きコース」を作成しツアーを行なっている。



実際にまち歩きを体験 (長崎市)

### ■視察を終えて

視察内容を今後に生かしてまいります。特に鳥獣対策は参考になりました。



活性化対策特別委員会

4月15日・16日

## 過疎地域から まちに元気を

視察先 福島県二本松市・喜多方市



委員長 剛 議員 鵜田 剛

道の駅を拠点に地域再生  
(二本松市)

合併により過そ化が進むという危機感を抱いた各地区のまちづくり団体が統合し、ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会を発足させた。「自立する地域づくり」をテーマに、「道の駅」を拠点として、安全安心な農産物の生産・加工・販売などの事業を展開している。有機農業を核とした地域再生の取り組みで、成果をあげており、地域の雇用・経済に重要な役割を果たしている。



道の駅「ふくしま東和」(二本松市)

集落支援員の取り組み(喜多方市)

人口減少と高齢化の進む集落の維持活性化対策の一つとして、平成20年度に過そ集落支援員制度を創設した。集落支援員は直接集落に向いて現況把握しながら、話し合いや助言を行っている。

支援員自身のスキルアップなどを目的として、「農山村集落元気塾」も開催している。地元住民、支援員と他地区の住民で、集落の中を実際に歩いて、外からの目で見た集落の良いところ(お宝)を探し、特産品としての販売を目指すなど、活性化策などを見出ししている。

### ■視察を終えて

集落の過そ化について、視察先で学んだことを参考に、本市の実情にあった施策の検討に生かしてまいります。(関連記事8面)。

交通体系等調査特別委員会

4月9日・10日

## 持続可能な地域公共 交通を目指して

視察先 埼玉県比企郡ときがわ町、茨城県日立市



委員長 貞夫 議員 榎本 貞夫

ハブ&スポークによるバス  
路線の運行(ときがわ町)

町営バスと民間路線バスの路線重複や同じ区間での料金体系が異なる問題を解消すべく、バス路線を再編し平成22年10月からハブ&スポーク化による多方向への対応(同時集散方式)での運行を開始した。これにより、最小の車両数で最大の運行本数を実現することができている。今後の課題として、収支バランスを改善し、路線バスを維持できる体制づくりがあげられる。

地域公共交通マイスターの  
取り組み(日立市)

公共交通担当職員が行った地域公共交通に関する取り組みが認められ、関東運輸局より、「地域公共交通マイスター」に任命を受けた。

取り組み内容としては、交通空白地域解消のため、地域がNPOを設立して、

デマンド型乗合タクシー導入時に地域の負担に理解を得るなど中心的役割を果たした。また、全国初の地域住民とバス事業者と市による「パートナーシップ協定」の締結により、地域住民・バス事業者による利用促進・利便性向上策の実施につなげたことがあげられる。

### ■視察を終えて

平成27年第2回定例会において、今回、視察先で学んだことを反映させたいうえで、指摘・提言を行いました。(関連記事9面)。



中心的役割を任うバス停を視察(ときがわ町)

4月～6月

## 特別委員会取り組み報告

### ●交通体系等調査特別委員会

開催日：5月7日

事件：平成26年度コミュニティバス及びデマンドタクシーの利用状況について、君津市地域公共交通網形成計画について、委員会調査活動の報告について

### ●君津活性化対策特別委員会

開催日：①5月7日 ②6月18日

事件：①まち・ひと・しごと創生法に係る本市の取り組み状況について、(仮称)清和地区観光交流センター整備事業について ②委員会調査活動の報告について

### ●防災対策特別委員会

開催日：5月19日

事件：上水道の耐震性と災害時の給水対策について、特別委員会調査報告書に対する意見等について

### ●学校給食共同調理場建設調査特別委員会

開催日：6月2日

事件：学校給食共同調理場建設事業の進捗よく状況について、委員会調査活動の報告について

4月～6月

## 委員会等の開催状況

常任委員会・特別委員会以外で、市議会選出の議員が、出席した委員会等は次のとおりです。

委員会等	4/24	5/14	5/18	5/27
定期監査等			6/22	6/25
君津中央病院企業団議会				6/30
君津富津広域下水道組合議会		5/21		6/25
消防委員会				5/12
農業委員会	4/20	5/20		6/22
国民健康保険運営協議会				5/18
都市計画審議会				5/15
文化のまちづくり1%支援委員会				6/27



## 車座ふるさとトークin君津

5月16日、高階恵美子厚生労働大臣政務官が本市を来訪し、車座ふるさとトークが開催されました。「妊娠・出産包括支援モデル事業」の利用者、事業担当職員、関係機関の職員などと「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」をテーマに意見交換が行われました。

## 行政視察で本市を訪問

- 5月から7月にかけ5市議会が調査のため本市を訪れました。
- 5/14 佐賀県佐賀市議会(妊娠・出産包括支援モデル事業)
  - 5/14 山形県村山市議会(英語教育推進事業)
  - 6/ 5 石川県七尾市議会(鳥獣被害対策)
  - 7/ 2 滋賀県甲賀市議会(公共交通政策、デマンドタクシー)(右写真)
  - 7/ 8 兵庫県三木市議会(英語教育推進事業)
- ※括弧の中は調査項目です。



## 議案審議や一般質問をチェック

# インターネット中継をはじめました

君津市議会ではより多くの方に議会の活動を知っていただくため、第2回定例会からインターネットでの録画配信を始めました。また第3回定例会から生中継を始めます。

- 配信内容 定例会及び臨時会の本会議
  - 注意 配信内容は公式記録ではありません。
  - アクセス方法
    - ①君津市トップページの右上にある「君津市議会」をクリック
    - ②左側のメニューより「本会議の動画配信」をクリック
    - ③「録画配信の視聴はこちらから」をクリック
    - ④ページ内にあるリンクをクリックし、ご視聴ください。
- ※ご不明な点は、議会事務局(56-1497)へお問い合わせください。



第3回  
定例会

8月5日(水)  
開会予定です

## 議会を傍聴してみませんか

第2回定例会傍聴者数 **237人**  
本会議(4日間)

傍聴ご希望の方は、本会議当日、市役所8階議会事務局までお申し込みください。なお、傍聴席は72席のため、先着順となります。



議会の日程や会議録をインターネットでご覧いただけます。

きみつ市議会 定例会

会議録は、中央図書館でもご覧いただけます。  
(第2回定例会の会議録は7月下旬から)

## 市議会だより編集委員

委員長/三浦 章 副委員長/真木 好朗  
委員/小倉 靖幸、鈴木 良次、岡部 順一

〒299-1192 君津市久保2-13-1 TEL.0439-56-1476

ホームページ <http://www.city.kimitsu.lg.jp>